

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度5月に小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査に関して、調査結果を振り返りながら本校の概要についてご報告します。本調査は、全国的な状況との関係において自らの学習成果や課題を把握し、その改善を図ることと、児童一人ひとりの指導のあり方を見直したり、学習や生活の改善に役立てたりするもので全国の小学校すべてが対象となる調査です。この調査結果をふまえ、より一層児童の学力向上に向けて指導方法の改善に努めてまいります。

全国学力・学習状況調査は、小学校第5学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下の通りとなっています。

① 身に付けておかなければ、後の学年などの学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

### ～調査結果概要～

#### 国語

国語	児童数	平均正答数			平均正答率(%)
横浜市立市沢小学校	83	7.7	/	14	55
神奈川県 (公立)	70,576	8.8	/	14	63
全国 (公立)	993,975	9.1	/	14	64.7

国語については、すべての領域において全国及び神奈川県平均より下回る平均正答率となりました。特に、「読むこと」の内容においては、資料を読み、書かれている内容に基づいて、自分の考えをまとめることについて課題が見られました。目的に応じて、文章の内容をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらい読んだりできるよう、要旨を捉えながら文章を読み取るよう指導していきます。

#### 算数

算数	児童数	平均正答数			平均正答率(%)
横浜市立市沢小学校	83	10.1	/	16	63
神奈川県 (公立)	70,594	11.3	/	16	70
全国 (公立)	994,101	11.2	/	16	70.2

算数についても、すべての領域において全国及び神奈川県平均より下回る平均正答率となりました。特に、「図形」の内容においては、直角三角形や、二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積を求めることに課題が見られました。基本図形の面積の計算による求め方を理解し、それを公式として導き、活用する力をつける必要があると感じました。公式の意味を理解し、活用していきけるように繰り返し指導をしていきます。

以上のように全体的な傾向について、お知らせしましたが、一人ひとりの状況は様々です。保護者の皆様との連携が児童の学力向上にもつながります。今後ともご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。